



画面と表面を シミュレートする

使用例 - Stratasys® VeroUltra™材料を使用して、多様な不透明度と表面を備えたハンドヘルド電子機器のプロトタイプを作成する。

課題

従来型の単一材料によるプロトタイプ作成は、高コストのマルチステッププロセスであり、長いリードタイムを伴います。また、複数の部品で構成されるプロトタイプの場合、各部品の外観に関してコミュニケーション面で問題が発生するリスクが高くなります。さらに、LED画面をシミュレートする場合、選択した加工方法に合わせてグラフィックを調整する必要があります。

ソリューション

Stratasys PolyJet™ 3Dプリンティング技術とVeroUltraファミリの不透明色材料を使用することで、この自動車のスマートキーモデルのプロトタイプをCMFモックアップとして1回の造形で作成できるようになりました。VeroUltraカラーは、複数の不透明度を可能にするだけでなく、元々のデザインの意図に忠実なカラーマッチングと鮮明な画面シミュレーションを実現しました。また、3Dプリントファイルに埋め込まれた精巧なグラフィックスにより、インモールドラベルの鮮明さと明るさを再現するボタンを造形できました。

影響

最終完成品と同等のリアルな適合性、形状、外観を備えたプロトタイプを1回の造形で作成できるため、製作期間が数週間から数日に大幅に短縮されました。その結果、デザイン検証プロセスが効率化され、市場投入時間が短縮されています。

